

平成31年度 大阪府立牧野高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

日 時 令和元年12月11日(水) 15:30～16:30
場 所 大阪府立牧野高等学校 校長室
出席者 協議会委員 松宮 新吾(会長)、有堀 正彦(副会長)、福原 哲晃、尾崎 順子
田中 博、駒井 恭子
(敬称略) 学 校 長 日笠 賢
事 務 局 小早川真一、石田 暁、中務 正和、大塚 正宣

1. 開会

○挨拶

松宮会長 第1回協議会で確認した牧野高校経営計画の進捗状況の報告と各委員からのご意見を頂きたい。また、昨今は大学入試制度について報じられることが多いが、学校教育の現場の中でぶれが生じないようによりしくお願いしたい。

日笠校長 本日は皆様からいろいろとご意見を頂き、今後の学校運営に活かしていきたい。本年度より1年生の制服制を導入したが、大きな混乱もなく定着化の方向にある。また、電子黒板についてもほとんどの授業で活用され、アンケート評価にも反映されてきている。さらに、部活動も活躍が目立ち、特にチームスポーツのクラブが成果を上げてくれている。

2. 学校の現状と平成31年度経営計画の進捗状況について……学校長より報告。

1) 次期学習指導要領への対応

次期学習指導要領について、現在、校内の委員会で鋭意検討を進めているところである。

2) グローバルな人材の育成

1年生では、1学期途中よりオーストラリアの高校生を1名留学生として受入れ、クラスと一緒に学校生活を過ごしたり、関西外大の2名のアメリカ人留学生をインターンシップ生として受け入れたり、校内でイングリッシュキャンプを行ったりするなどの機会を設けた結果、1年生の英語スピーチ大会もレベルアップが見られるようになってきた。

3) 人権教育、人権意識醸成の機会の設定

今年度は、北朝鮮による拉致問題についての人権学習を全学年の生徒向けに実施。また各学年とも年間2回、講演や映画鑑賞等による人権学習の機会を設け、人権意識を醸成している。

4) 進路指導体制の充実

大学入試センター試験の現役生出願者数及び出願率の資料を基に説明。出願率、5教科登録者率ともに大きく上昇した。また、11月には1年生と2年生のそれぞれに外部講師による進路講演会を実施。1年生に対する国立大学の魅力に関する講演は、同じ講師に午後からは1年生の保護者にも講演をしていただき、200名を大きく上回る保護者が参加し、進学に対する意識の高さが伺えた。

5) 教職員の長時間勤務の縮減

資料3「超過勤務の推移」をもとに説明。この3年間で漸減する傾向になっている。

3. 平成31年度主な工事及び設備の整備について……事務長より報告。

快適に過ごせる学校生活の環境づくりを目的に、資料にある内容について着手。バリアフリー化については二つの教室棟間と教室棟から体育館までの整備ができた。

4. 第1回授業アンケートの結果報告と超過勤務の推移について……教頭より報告。

1) 第1回授業アンケートの報告(資料2)

平成29年度第1回からの経年比較として資料を作成。

アンケートにおける評価については、各教科とも着実に上昇傾向になっている。

2) 超過勤務の推移の報告(資料3)

ここ3年間で超過勤務の実態としては、時間数、産業医による面接の必要な人数ともに減少傾向にある。

一部前年比を上回っている月があるが、4月は年度当初の業務処理、8月は土日も含めたクラブ付き添いの時間、10月は修学旅行の引率による影響と思われる。

《意見交換》

○大学入試センター出願状況からみても国公立型が大きく増加し幅広い学習を志す生徒が増えていようであるが、3年生の3学期の授業(学習指導)はどのようにされているか?
⇒ 午前中授業とし、午後は講習や補習の実施などに有効活用している。

○授業アンケートの結果で教科別平均値の推移をみると上昇しているが、その要因は何か?
⇒ 電子黒板が全普通教室に設置されてストレスなしにICTを活用した授業ができるようになり、生徒が理解しやすくなってきていると考えている。
また、アクティブラーニングの導入など、授業の工夫も見られることが要因と思う。

○超過勤務の実態についてはどうか?
⇒ 学校行事との兼ね合いやクラブ付き添いで時間増となることが多いが、産業医との面談やアドバイスは適切に受けているので、現在のところ大きな問題はないと考えている。

○施設・設備の充実が図られているが
⇒ 体育館へのスロープ設置に伴い、本校ではプールへの移動以外はすべて、車椅子での移動が可能となり、バリアフリー化が進んだ。

○和太鼓はいつ使用されているのか?
⇒ 体育祭の応援合戦の中で使用している。使用頻度も高いので譲受を希望した。

○悩みを相談できる場所があることへの生徒肯定率80%以上を維持するとあるが。
⇒ いざというときに相談できる場所の確保に努めている。今年度より相談室委員会を発足させ、組織面を充実し、定期的に会議を開催することにより、生徒の就学支援をはじめ幅広く議論し、適切に対応できる体制づくりを進めている。いじめについても、全生徒にアンケートを年2回実施し、些細なことでも丁寧に情報収集と状況の把握に努めている。

■事務連絡 第3回は2月中旬を予定

閉会あいさつ

校長より 少しずつ取り組みの成果が現れ、牧野高校が一步步前進していると考えている。
今後ともご支援をお願いしたい。